

## 第15回全国OB会定期総会を開催！

9月13日～14日、東京・目黒さつき会館において、第15回定期総会を開催しました。冒頭、挨拶に立った川端会長は、期待をして誕生させた政権与党の民主党は、増税のみを決めて社会保障の取り組みを置き去りにし、国民不在の代表選挙一色、田城議員には信念を持って行動してもらいたい。



東日本大震災から1年半が経過したが、被災地の復興はまだまだ時間がかかる。継続した支援を取り組みたい。また、福島第一原発事故の検証も道半ばにも関わらず、大飯原発を再稼働させた。でたらめな対応に首相官邸前での抗議行動もうねりを増している。この行動を全国に広め脱原発を進めよう。

JR貨物労組も発足から25年を迎え、新たな貨物改

革の闘いを推し進めようとしている。この厳しい中で中央執行委員長が交代した。経験は充分であり、若さと行動力で局面を打開してほしい。OB会も微力ではあるが支援していく。

JR浦和電車区事件は、2月6日に最高裁より上告棄却の決定があり、3月1日に確定した。組合の職場活動を否定した最高裁の暴挙は許せない。えん罪の無い社会実現のため、OB会も共に取り組んで行きましょう。

来賓として挨拶した相澤委員長からは、職場と仕事と生活を守るため、組合版ロードマップを作成した。秋の闘いを内から固め、外に打って出る闘いを進める。OBの皆さんからも支援をお願いしたい。また、お忙しい中、駆けつけた田城参議院議員からは、せっかく国会に送り出して頂いたのに歯がゆい思い。消費増税に反対したが、追い出されるまで与党で頑張る。どこに身を置こうが先輩の皆さんの立場、働くものの立場に寄り添って活動していく。

総会は14名の代議員から発言があり、OB会の自主・自立を目指し、組織の強化・拡大を目指す。JR貨物改革のたたかいを支援していく。社会保障制度の改善に向けて取り組む。等を柱とした方針を満場一致で承認されました。健康第一、楽しいOB会活動を進めよう。